

KAIKAKU-PROJECT

2019

年次報告書

ANNUAL REPORT 2019

NPO法人改革プロジェクト

犯罪なき世の中へ



認定NPO法人改革プロジェクト

〒811-4146 福岡県宗像市赤間3-5-1-204

E-mail

information@patorun.com

Webサイト

<http://kaikaku-prj.com/>





2019年度活動のお礼とご挨拶

25歳で団体を設立し9年の月日が経ちました。改革プロジェクトを設立するまで、社会の問題や地域に対して関心を持ったこともなかった人生でした。そんな私が、団体の活動を通じ出会った人たちや経験は何者にも堪え難いものです。2020年9月には、設立10年というひとつの節目を迎えます。団体を支えてくださる方たちの思いを決して無駄にせず、活動による成果を社会へと還元していきます。



代表理事
立花 祐平

改革プロジェクトの足あと

改革プロジェクトは2010年の設立以降、海辺の環境保全活動と安心して暮らせるまちをつくる防犯活動の両輪で取り組みを進めてきました。

- 2010.09 任意団体設立
- 2012.01 防犯パトロール事業開始
- 2013.01 パトラン開始
- 2014.07 NPO法人格取得
- 2014.12 住友生命「YOUNG JAPAN ACTION」グランプリ受賞
- 2015.08 パトランJAPAN発足
- 2016.01 パトラン商標登録
- 2017.10 マニフェスト大賞受賞
- 2018.07 スポーツ振興賞「スポーツ庁長官賞」受賞
- 2020.03 認定NPO法人格取得



団体概要



名 称	認定NPO法人改革プロジェクト
設 立	2010年9月(2014年NPO法人格取得)
所在地	福岡県宗像市赤間3-5-1-204

役 員	
代表理事	立花 祐平
理 事	時安 里江
理 事	高堂 大輔
理 事	吉田 真二

PATROL RUNNING

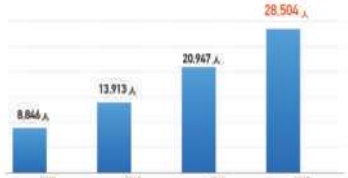
パトロール実績

全国各地で1年間でのべ **28,504** 人がパトロールを行いました。
パトランにより街を見守った時間は **11,452** 時間となります。

活動人数(2019.4.1~2020.3.31)

28,504 人

全国での活動人数は年々増加しています。2019年は前年と比較して、7,557人増加し過去最多の人数となりました。



活動時間(2019.10.1~2020.3.31)

11,452 時間

パトっちの導入によりパトロール時間を可視化することができました。時間による防犯活動の成果を目に見える形にしていきたいと考えています。



街の異変の報告

全国各地で **219** 件の現場対応と **1632** 件の街の異変を報告しました。
そのうち、**428** 件が改善されました。



救命／人助け

不審人物・車両

交通事故

その他

42 人

26 件

7 件

144 件

合計219

街灯切れ

道路の危険箇所

放置自転車

不法投棄

落書き

改善

263

60

55

48

2

合計428

報告

1,150

208

138

119

17

合計1632

パトラン中に発見した事案は行政や警察へ通報連絡することで、安心して暮らせる地域づくりを進めています。



活動延べ人数と活動時間は過去最多となりました。メンバーの功績が街の安全・安心に繋がっています。パトランナーのいる所に犯罪は無し・パトランナーがいるから安心!そんな文化を根付かせたいと思います。レッツパトラン!今年度もやります

理事 時安 里江

パトランの展開

新たに **5** つのパトランチームがスタートしました。

東京チーム(東京)



びわこチーム(滋賀)



糸島チーム(福岡)



佐賀チーム(佐賀)



久留米チーム(福岡)



犯罪件数の減少

パトランチームが活動する地域における刑法犯の認知件数は
2018年度と比較して **18,822** 件減少しました。

主な地域別の減少件数

東京都

-9829 件

兵庫県

-3838 件

京都府

-1685 件

福岡

-1282 件



(福岡市、北九州市、宗像市、糸島市、福津市、久留米市)

BEACH CLEAN

自然環境の保全

Yの字作戦として5年間でビーチクリーン活動を **36** 回実施し、のべ **812** 人が参加しました。ごみの回収量は **7,714** kgとなりました。

2019年度活動回数

実施回数

4 回

参加人数

90 人

回収ごみ量

557 kg



TOTO株式会社のみなさんとのコラボ活動は5年目となりました。



TOTO水環境基金の助成を受け実施してきたクリーンアップ「Yの字作戦」も5年目とラストイヤーとなりました。2020年度も引き続き改革プロジェクトのビジョンとミッションに基づき、環境活動に尽力してまいります。

環境事業担当 松田 愛子

パトランでの取り組み

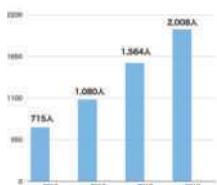
パトランJAPANの展開

2,000人突破!

メンバー数 **2,008** 人

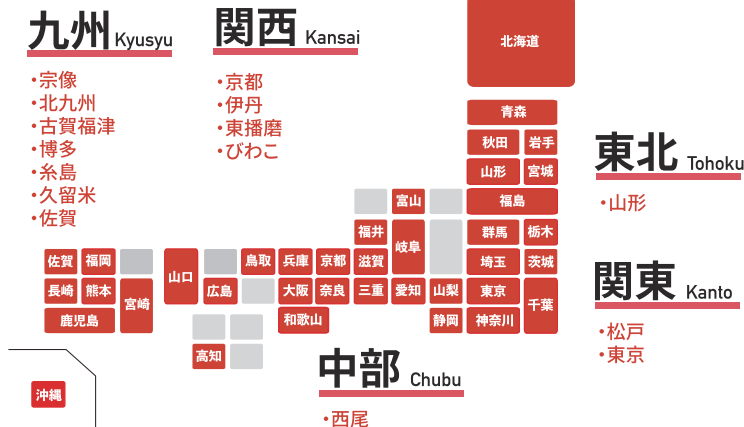
実施都道府県 **38** 都道府県

パトランを実施している都道府県は38(昨年比+2)となり活動人数は、合計2,008人(昨年比+444人)となりました。



メンバー数の推移

全国での活動人数は3年間でおよそ3倍に増えています。



チームによる取り組み

活動チーム **15** チーム

パトランチームは一定の条件を満たした場合に設立できます。全国各地に15のチームがあります。



”初”高校とのコラボ活動(SAGAチーム)

佐賀県内の2つの高校(鳥栖工駅伝部、清和高校陸上部)と合同でのパトランを実施しました。高校とのコラボレーションでの活動はパトランでは初となります。



”初”警察との連携協定を締結(西尾チーム)

愛知県西尾チームが西尾警察署と見守り活動に関する覚書を締結しました。全国のチームに先駆けて、警察との連携を強めながら、街の安全づくりに貢献していきます。



活動による成果

パトラン中に発見した事案は行政や警察へ通報連絡し、安全なまちづくりへ貢献しています。

交通事故

7 件

交通事故現場に遭遇した際に交通誘導や警察への通報、当事者への声かけなどを行いました。

交通事故現場での対応 塚越 章彦さん／群馬県

パトラン時、後方から大きな音が聞こえました。振り返ると自動車の単独事故です。車道脇の縁石に乗り上げNTT地上機器BOXにぶつかり止まっていました。運転者負傷なし、同乗者なしを確認。警察に110番通報し、二重事故無いうに注意・誘導しました。また別の日は活動中に大きな音が聞こえました。しばらく進むと自動車同士の交通事故でした。運転者・同乗者の怪我の有無を確認し、警察への通報のフォローをしました。信号機のある交差点での信号無視による事故でした。2事案、人命第一、事故拡大しないように対応しました。今後も緊急時に落ち着いて行動できるよう心がけパトラン継続します。



救命／人助け

42 件

パトラン中の人助けを行った件数を表しています。路上で倒れている人や行方不明となった子どもを探すサポート、認知症徘徊の老人を家に送るなど内容は多岐に渡ります。

人助け 井邊 恵津子／東京都

とても風の強い日、高齢の女性が、強風にあおられて、ガードレールに倒れかかっていました。私は、右手にトング、左手にパンパンのゴミ袋を持っていたのですが、慌てて駆け寄り、体を支えました。女性は、両手に重たい荷物を持っていて、あの強風じゃ、あおられても仕方ない状況でした。私も両手が塞がっていたのですが、女性のお荷物をふたつ持ちました。聞けば、私と帰り道が同じ方向で、お宅まで荷物を持って、一緒に歩いて帰りました。ご婦人にケガなどなくて、良かったです。「ありがとう」と何度も言っていたが嬉しかったです。



道路の危険箇所

改善 **48** 件 報告 **119** 件

道路上で事故につながる危険のあ流場所を発見した場合、報告と改善の依頼を行います。

不審人物・車両

26 件

路上にとまっている怪しい車や不審人物を発見した際に、通報や声かけを行いました。

その他

144 件

落し物の届出が最も多く、その他には信号機やカーブミラーの設置要望や公園の不具合など異変を見つけた場合に対応しています。

交通事故現場での対応 立岩 義典さん／愛知県

自動車2台の出会い頭の衝突事故の現場に遭遇しました。怪我人の確認後、事故車が道路を防いでいたので交通整理を実施。祭りの日という事であまりの交通量に苦戦していると通り過ぎの方が手伝ってくれたので何とか対応出来ました。1時間程して往来が正常化。お巡りさんと事故の当事者の方々から感謝の言葉を頂き、ともに交通整理をした皆さんと健闘を讃えあってお別れしました。困っている人を助ける事ができて良かったというのが最初の感想でした。2次的な事故を防ぐ事にも貢献出来たかなと思いますが、それ以上に手伝いに入ってくれた皆さんの存在に本当に感動しました！無我夢中でしたが行動して良かったです。



不法投棄 平野 康夫さん／滋賀県

パトランを始める迄は関心を余り持っていなかった不法投棄啓発看板、監視カメラ設置が自分の活動地域内にどんどん増えていった事がきっかけで不法投棄への関心が強くなりました。真新しい看板が無かった所に増えたり、看板が破損されたりと悲しい状況が続く度に関心が深まってきました。特に私が活動している地域は、自然豊かな公園が多いため、誰が捨てたのだろう、現行犯を確認して報告したいとの気持ちまで起こりました。報告してもまた時が経つと同じ事をする人が後をたちません。不法投棄が無くなる迄譲れない気持ちで、活動時にチェックすることをルーティンとして怠らない様にしています。



街灯切れ

路上の街灯の電球切れを発見した場合に行政や自治会などに報告を実施しています。

改善 **263** 件 報告 **1150** 件

落書き

落書きを発見した場合、行政管轄場所に報告を行い、現場環境の改善を要望します。

不法投棄

改善 **60** 件 報告 **208** 件

粗大ごみの投棄など手付かずとなっているごみを発見した場合に、報告と改善の依頼を行います。

放置自転車

改善 **55** 件 報告 **138** 件

手づかずになっているまま放置されている自転車の回収依頼を行います。

全国の犯罪件数の推移

2018年認知件数

817,338 件

2019年認知件数

748,559 件

2019年度の全国での刑法犯の認知件数は前年と比較すると**68,779件減少**し、戦後で最も少ない件数となりました。

性 犯 罪

6,305 (6,647)

窃 盗

532,565 (582,141)

ひったくり

1,553 (1920)

放 火

840 (891)

2019年(2018年)

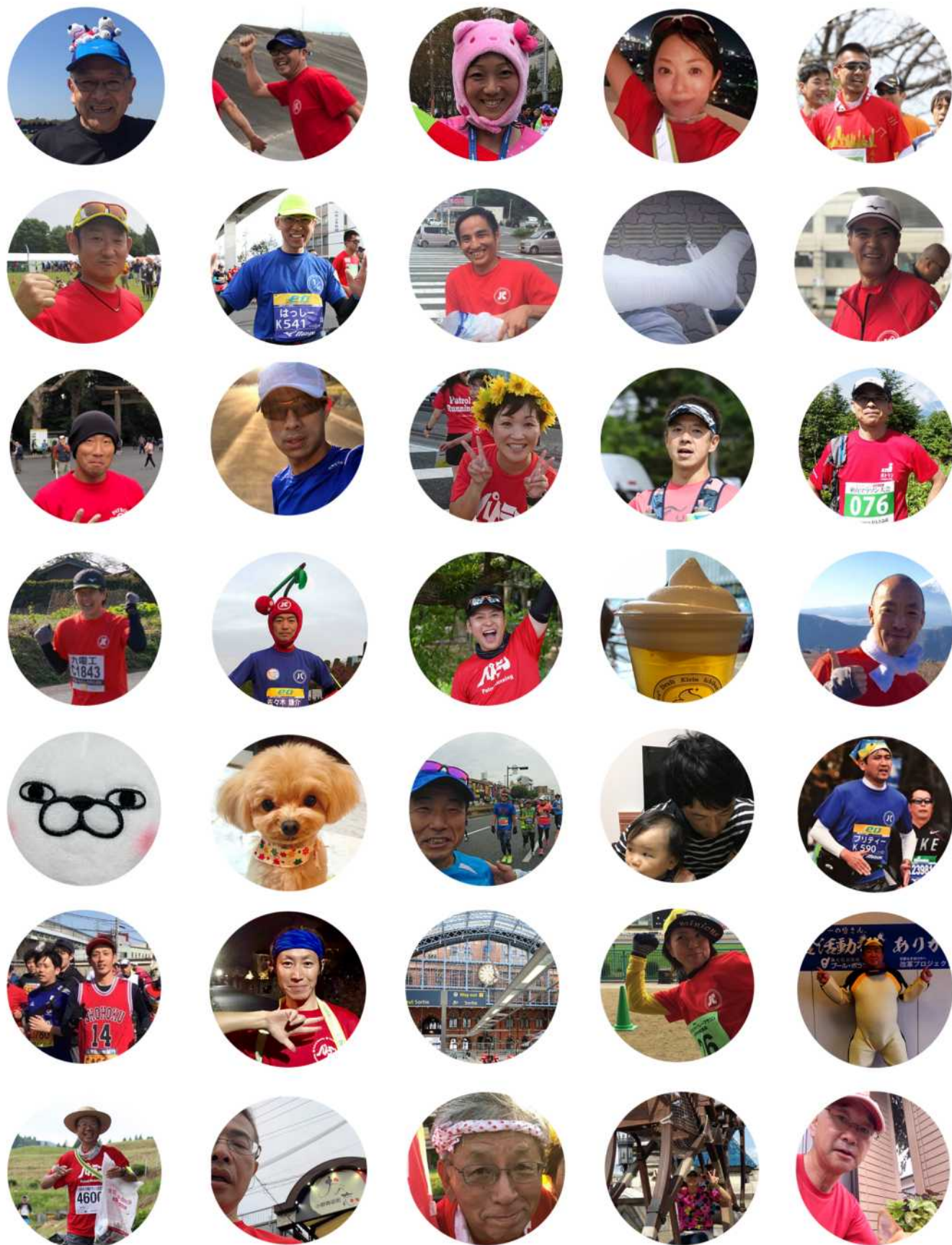
防犯強化月間の実施

毎年8月を防犯強化月間とし全国でのパトランを強化しています。2019年は8月の月間活動人数が3,156人となり過去最多となりました。8月10日はパトランの日として全国一斉に活動を行っています。



OSAKA MARATHON 2019.12.01

大阪マラソン寄付先団体3年目となりました。
2019年は40人のチャリティランナーが改革
プロジェクトから出走しました。



大阪マラソンチャリティランナーで参加して



田嶋 裕子 さん (大阪)

2013年、職場の人たちと大阪マラソンに申し込み、当選したことで慌てて走り始めました。それから毎年当選したら走り、落選したらボランティアで大阪マラソンに参加していました。今回は新コースになるということで、張り切って申し込みましたが落選でした。ボランティアで申し込もうと思っていた矢先、職場の方からチャリティランナーというものがあると教えてもらって参加することになりました。友人にも声かけさせてもらって、新コースを走れることの喜びと、新しい仲間ができるという嬉しさに当日までワクワクしていました。合同練習会や当日もパトラン仲間と一緒に走ったり、応援ものぼり旗も目立ちわかりやすく、とにかく楽しい42.195kmでした。当日のマラソン前後にはチャリティランナー専用ブースで過ごすことができ、懇親会でも全国のパトランナーと親睦を深め、素敵な出逢いにご縁に感謝しています。パトランもマイペースに続けていきたいです。



伊藤 優 さん (愛知)

大阪マラソン、とても楽しく嬉しかったです。思えば、一緒に走りませんかと誘われて参加したのがパトランの始まりですね。パトランに参加して初めて大会に参加したのが2018年1月の一色マラソン(10km)でした。再び走る楽しさを思い出したレースでした。翌年にはどう大会のハーフマラソンに参加。完走しましたが、長い距離はこれっきりと思っていました。半年後には、急展開で無謀と言われてながらも大阪マラソンに出る(還暦記念と子供への想い)しました。その間にハーフマラソンを2レースこなし、またパトラン西尾チームのメンバーと30km走にお付き合い頂き準備しました。大阪マラソン当日は、皆の友情と、全国のパトランメンバーの熱き応援の中、無事初フルマラソンを完走することができましたことに、感謝申し上げます。「楽しくなきゃつまらない」レッツパトラン！そして、皆さん走りましょう大阪マラソンへGo！

大阪マラソン2019Charity Runnerの皆さま

<3年連続出走>

ようちゃんさん、まるちゃんさん

<2回出走>

よっちゃんさん、岡田班長さん、くりさん、はっしーさん、うっちーさん、とりちゃんさん、永井淳さん、TOMさん、さっこさん、カトリヌさん、ササッキーさん

<初出走>

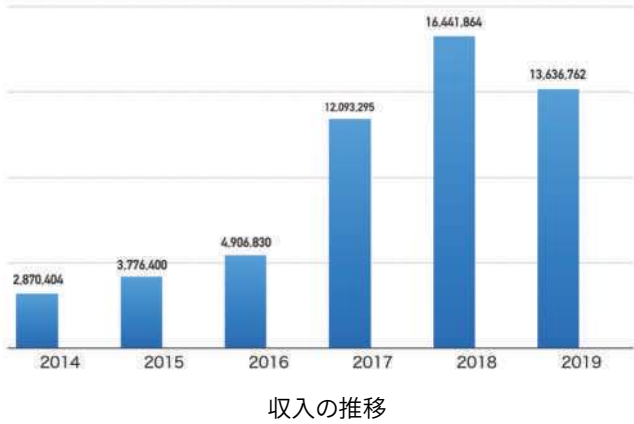
Chen,PoJuさん、まさみさん、吉富さん、Kuppieさん、チョコボールさん、美穂さん、クロさん、タカユキさん、Raymond Wuさん、minoraさん、ミッチーさん、ちかさん、まさきちゃんさん、しんちゃんさん、eikoさん、だいすけさん、DDS110さん、たちばなさん、jiveさん、ゆーちゃんさん、ゆっきんさん、もりもりさん、まさひるさん、テリチチさん、あややさん、にっかわさん、Kazzさん

会計報告

活動計算書（2019年4月1日～2020年3月31日）

科目		2018	2019
経常収益	1 受取会費 正会員受取会費・サポーター受取会費	278,000	316,000
	2 受取寄付金	11,270,706	8,957,001
	3 受取助成金	1,199,540	911,500
	4 事業収益 事業収益	3,144,150	3,314,997
	受託事業収益	473,370	5,000
	5 その他収益 受取利息・雑収入	76,098	132,264
経常収益 計		16,441,864	13,636,762
経常費用	1 事業費 人件費	3,507,100	4,185,216
	その他経費	8,063,227	9,307,028
	事業費 計	11,570,327	13,492,244
	2 管理費 人件費	385,068	482,402
	その他経費	328,271	325,425
	管理費 計	713,339	807,827
経常費用 計		12,283,666	14,300,071
当期経常増減額		4,158,198	△ 663,309
法人税、住民税及び事業税		71,000	71,000
過年度損益修正益		302,400	0
当期正味財産増減額		4,389,598	△ 734,309
前期繰越正味財産増減額		389,863	4,779,461
次期繰越正味財産増減額		4,779,461	4,045,152

年度別の推移



監査報告

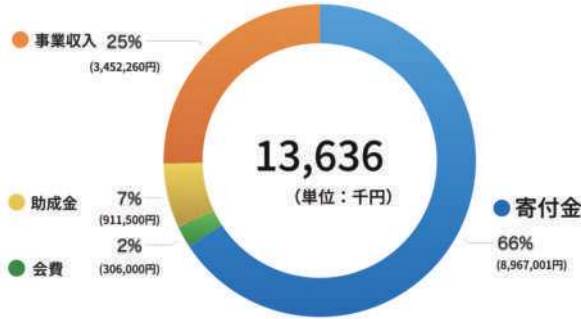
活動計算書と貸借対照表について監査を行いました結果、会計帳簿に記載の金額と一致し、法人の収支状況を正しく示していることを認めます。

NPO法人改革プロジェクト

監事 仲西 浩一



収入の内訳



2019年度は新たに5つのパトランチームが稼働し、合計15チームとなりました。チーム増加に伴い、活動の立ち上げや運営資金は年々増加傾向にあり、前年と比べ201万円の増加に。助成金では、TOTO水環境基金が5年目となり最後の1年となりました。事業費の増加により、当期経常増減額は66万円のマイナス。来期以降もチーム数や活動人数は増加していくことから、活動を維持するための収益源の確保は今後の課題のひとつです。2020年度は、防犯活動を主軸に、環境分野でも新たなチャレンジに取り組んでいきたいと考えています。

ご支援いただいた企業・団体・個人の皆さま



レッドレンザージャパン株式会社



株式会社シナジーグローバル



株式会社セールスフォース・ドットコム

大阪マラソン2019 / 住友生命株式会社 / 認定NPO法人プール・ボランティア / 田辺三菱製薬健康保険組合
株式会社エクセレントライフ / 中華菜館五丈原 / Kanvas / 株式会社二光 / 一般社団法人PENTAGON
時安建具店 / クロスウェイ / 麺や道 / エムエム西日本 / 株式会社リフォームイレブン / ゆいまる
株式会社おかやま / DICE ※敬称略

応援メッセージ



南 博さん
北九州市立大学教授



笹野 雄二郎さん
パトラン松戸チーム

かつて私が宗像市で市民参画の仕事をしていた際、宗像周辺での改革プロジェクトの活動はキラリと光っており注目していました。約10年が経過してパトランを中心に活動の輪が全国に拡がり、また認定NPO法人となられたことは、団体メンバー、各地のパトラン参加者の皆様の前向きな活動の積み重ねはもちろん、周囲の様々な組織・個人の厚いサポートがあつてこそだと思いますし、そうした多様な人々を引き付ける魅力、熱さ、活動意義があることが改革プロジェクトの良さだと思います。今後も社会課題の解決に向けた活動の充実を期待しています。

松戸チームはランニングパトロール隊と星屑隊があり、ごみ拾い活動も行なっています。昨年度は、警察署員や刑事の方との合同パトランも行うことができました。綺麗な街＝犯罪のない街の実現を目指して、ランニング防犯パトロールと共に日々活動に励んでいきたいと思っています。全国のパトランの皆さんと共にサードコミュニティの代表的存在として『子どもや女性、お年寄りの皆さんが安心して暮らせる地域』をつくっていけることを願っております。

2019年度のメディア実績

テレビ

J:COM (4/8) 東京
NHK (4/9) 北九州
鹿児島テレビ (4/17) 鹿児島
RKB今日感テレビ (5/28) JAPAN
TBSあさチャン (5月) JAPAN
J:COM (7月) 東京
J:COM (8/19) 北九州
NHKあさいち (9/9) 宗像
地元テレビ (9/21) 山形
KBCシリタカ (9/25)
地元テレビ (11/6) 山形
地元テレビ (12月) 山形
佐賀テレビ (2/23) 佐賀
ケーブルテレビ (3/5) 西尾

新聞

南日本新聞 (6/4) 鹿児島
山形新聞 (6/22) 山形
佐賀新聞 (7/3) 佐賀
加古川新聞 (7/24) 東播磨
神戸新聞 (9/20) 東播磨
山形新聞 (9/22) 山形
読売新聞 (9/22) びわこ
西日本新聞 (10/17) 糸島
三河新聞 (11月) 西尾
愛三時報 (11月) 西尾
佐賀新聞 (11/7) 佐賀
山形経済新聞 (12/22) 山形
西日本新聞 (12/22) 北九州
産経新聞 (1/10) JAPAN
佐賀新聞 (2/5) 佐賀
加西タイムス (2/15) 加西
佐賀新聞 (2/23) 佐賀
西日本新聞 (2/23) 久留米
西日本新聞 (3/1) 代表 立花
中日新聞 (3/5) 西尾
三河新報 (3/5) 西尾
愛三時報 (3/5) 西尾
岩手地元新聞 (3/29)

その他メディア

●WEBメディア
ダイヤモンド・オンライン (5/17) JAPAN
東京都メディア (12/1) 東京
まいぶれ (2/24) 京都
COCOすこい (3/10) 伊丹
●フリーペーパー
中央労働防止協会 (4月) 東京
おるね (5月) 古賀福津
リビング福岡 (8月) JAPAN
広報糸島 (11月) 糸島
自治体広報紙 (1月) 加西
●ラジオ
京都ローカルラジオ

運動嫌いで鈍臭い
インドアな私。

宗像市に生まれて育ち50年。子育てや仕事に追われる毎日地域との交流がほとんどありませんでした。子育てがひと段落し始めた40歳の頃、ダイエット目的でジョギングを始めることにしました。それまでは運動大嫌いの鈍臭いインドアな人生を送っていた私ですが、いきなりフルマラソンに出場しビギナーズラックの完走に調子付いて、以後今までフルマラソン35回、ウルトラマラソン(100キロ以上)10回、トレイルレース(山を走る)15回に出場してきました。そんな中、私がパトランに出会ったのは2015年の1月、パトランの母体団体である改革プロジェクトが主催するランニングセミナーに参加した時のことでした。「宗像に住んでいながらこんな活動があつたなんて!」その場でパトランの話を聞きすぐに興味が湧きました。早速、翌週の活動開催日にパトラン宗像の門を叩く事に。参加者10名、20代後半から30代の若者が街の安心・安全の為に時間を割いて熱心に活動をしている姿に感銘を覚えました。30分4キロの短い活動時間ではありますが、何か今ま

時安里江

でない達成感を感じた事を、今でも鮮明に覚えています。当時はまだパトランは宗像でしか活動していませんでしたが、多い時には30名を超えるメンバーが集結して、宗像の夜の街に安心・安全を提供していました。

自分のためから 社会のためへ

私のそれまでのランニングスタイルは、ダイエット目的だったりマラソン大会に出場するための練習のためだったりと自分のためだけにしかありませんでした。マラソンを始めたことでたくさんの仲間ができましたが、その仲間はマラソンに対して個人のもつ目的や意識が違っており、私のランニングスタイルとはズレが生じるころがありました。街の安心・安全を目指し防犯意識を持って走るパトランは参加者が同じ目的や意識を持って行っています。そのため、パトランメンバーとは初回参加からすぐに打ち解けることができました。そして今でも変わることなく皆さんと仲良くさせてもらっていますがこの関係性はこれからも変わらずに、ずっと続けていきたいと思っています。

「パトランは 柔軟剤」

後先考えずに代表任命に快諾したわけですが、月日が経つごとにその重圧を感じ始めていました。浅田真央さん効果やその他のメディアの影響でパトランは全国へどんな活動が広がっていききました。福岡県内にくつつかのパトランチームが立ち上がり、その半年後には関東にもチームが立ち上がりました。あれよあれよと言う間の広がり、体制と気持ちが付いて行けず戸惑いの毎日。嬉しい悲鳴です。

宗像メンバーにも新規入会者が増えました。ダイエット目的の女性や、子育てにひと段落したから体を動かしたいという女性、自分の居場所を見つけないと会社員の男性、社会のために何かしたいとの思いを持つ大学生など、取り組むきっかけは様々ですが、地域のために、そして子ども達のためにという思いは同じ。皆さんがパトランを通じて元気に生き生きと変化されていく姿は、私にとって活力の源となりました。全国にいるパトランメンバーとも、様々なイベントを通して交流していますが、パトランをやつていなかったら出会うことのなかった人たち。そんな皆さんに出会えたことは奇跡であり、私の宝でもあります。いろいろな境遇を持った人たちと交流させてもら

営を期待できるようになったことも大きな要因のひとつです。

私がパトランを続けていられる理由として、女性陣の活動力があります。パトランメンバーの4割が女性です。この女性の割合は、他のどの防犯活動団体よりも群を抜いて大きいものとなっています。街頭犯罪でも悪質な性犯罪、世の中の女性には常に危機管理への意識を持ってもらいたいと思っています。従来の防犯活動は、女性にとつて敷居の高いものが殆どでした。しかし自らが防犯活動を行うことで見えてくるものがたくさんあります。性犯罪への危機管理能力を培うことができます。もつと多くの女性がパトランに賛同し継続的に楽しんで活動してもらえようように私自身邁進して活動していかなくてはならないと思っています。

2019年度まではパトランとの関わりにおいて、自分自身の発掘の年月でした。2020年度からはパトランで培ったものを活かしていける年にしていきたいと思っています。

パトランが私にとつての柔軟剤であるように、パトランのみならず人生において、私の存在が誰かの柔軟剤になれば幸せです。降り注ぐ太陽の日差し(全国のパトランメンバー)で、いい匂いのする柔らかな(安心・安全な)洗濯物(街)を乾かして(造つて)いきたいと思っています。

思いがけず 代表に就任

1月に初めてパトランに参加してすぐに、3月にフィギアスケートの浅田真央さんと一緒にパトランできるといふ情報を知りました。住友生命「ヤングジャパンアクション」の大賞をパトランが受賞したことで、浅田真央さんがパトランに参加することに。宗像で発祥したパトランが全国へ展開していくきっかけとなりました。当初、防犯活動の手段がランニングという活動は珍しいものでした。こんな活動があることを多くのランナーに伝えたくて、Facebookで私が所属しているランニングコミュニティでパトランについて全国へ発信しました。するとすぐに、全国にいるランニング仲間がこの活動に賛同してくれました。「パトランTシャツを着て活動したい」と関東に住む友人が始めてくれて、パトラン全国展開への引き金となりました。今でも思い出に残る嬉しい出来事です。その後も関東だけではなく、東北や関西、中部地方の賛同の声を頂き次々にパトランが全国へ波及していききました。

私がパトランを始めて4ヶ月後の2015年5月からは、パトラン宗像の代表を務めることに。

次のステップへ

2020年3月、5年間務めたパトラン宗像の代表を退任しました。理由は、宗像代表と事務局スタッフ業務の両立が厳しくなってきたことから。どちらも中途半端にしたくありませんでした。パトラン宗像は、現在週2回の夜間の活動に加えて、月4回昼間の子ども見守りパトランをずっと続けてきました。今は心強いリーダー陣もいますので、私抜きでもチーム運

2020 TOPICS

1

認定NPO法人取得！

3月19日に認定NPO法人として認証されました。福岡県内では30団体目となります。2年前から認定取得を目指し、準備を重ねてきました。今後、団体への寄付は寄付金控除の対象となります。



2

全日本実業団空手道選手権で準優勝

11月7日に開催された全日本実業団空手道選手権大会において、改革プロジェクトチームが団体型の部で準優勝の成績をおさめました。5月に開催された西日本大会では優勝と、創部1年目としてこれ以上ないスタートを切ることができました。



3

Adventure MUNAKATAの開催

2020年度冒険型マラAdventureのプログラムがスタートしました。大会には定員を超える方々にエントリーいただきましたが、コロナウイルスの影響で本番は中止となってしまいました。今年こそは必ず実現したいと思います。



4

トーエベッサンTシャツ販売

購入が環境保全活動への寄付につながるトーエベッサンTシャツの販売を開始しました。1枚につき700円を宗像の漁師が行う環境保全活動を支えるために寄付を行いました。



5

活動集計ツール「パトっち」を導入

全国各地でのパトランによる取り組みを可視化するために独自の集計ツール「パトっち」を開発しました。パトっちの導入よりこれまで暗数となっていた活動による件数やパトロール時間数を可視化することが可能となりました。



応援していただけました皆様のおかげで無事に活動することができました。昨年度末、新規事業として進めていたものがコロナの影響で中止となりましたが、準備段階で得た経験は非常に大きいものとなり、力となりました。本年度はコロナとの戦いからスタートとなっていますが、そのような中でも光るものを作り出していきたいと強く思います。

理事 高堂 大輔

戦う中年戦隊

RANGER's

改革プロジェクトレンジャーズは団体を支えるボランティアメンバーの総称である。2019年度よりスタートし、パトランやビーチクリーン、Adventureなど団体のあらゆる活動を支えているのだ。



大阪マラソン2019



TOTOコラボビーチクリーン

R 品川レンジャー

改革プロジェクト＝パトランとしての防犯活動は有名ですが、実は「Yの字作戦」という地域清掃活動も行っています。2020年度もキレイな海、安全な街のために、レンジャーとして活動を支えています。

R 吉富レンジャー

昨年度、桃レンジャーとしてお手伝いさせていただきましたが、何より心残りは「アドベンチャー」の中止です。悔しい想いをバネに、認定NPO法人となった改革プロジェクト活性化の一助となれるよう、また1年間尽力致します。

R 林レンジャー

何事も初めての経験で、いつも他のメンバーの皆さんの背中を借りてばかりでした。来年度は益々大きくなっていく活動に少しでもお役に立てよう、率先して取り組んでいきたいと思っています！

R 永井レンジャー

レンジャーズとして一年間活動してきましたが、コロナの影響でアドベンチャーが開催できなかった事が心残りでした。来年度は、アドベンチャーの成功とレンジャーとしての新たな活動報告できるようにしたいと思います。

R 播磨レンジャー

この一年、皆さんが楽しく活動できるように尽力を尽くしてきましたが、最後にコロナの影響で思うようにいかなかったことが残念でした。来年度はより一層、皆さんに喜んで貰える場を提供出来るよう頑張ります。

